

高齢者へ、長寿のお祝い

敬老の日を前に可知市長と三宅副市長、市民福祉部長が、9月12日、市内の高齢者宅などを訪れ、長寿を祝いました。

この日、可知市長は、市内最高齢者の小木曾さださん（106歳・山岡町）をはじめ、男性の在宅最高齢者の成瀬榮一さん（100歳・明智町）と本年度99歳になる6人の方々へ記念品などを手渡しました。市内には、本年度末までに99歳となる方が15人、100歳が15人、101歳以上が13人おられます。



可知市長とのお祝いの花を受け取る小木曾さださん

秋の郷土の味五平もち



焼き具合を見ながら丁寧に五平もちを焼く受講生たち

9月10日、アグリパーク恵那で「恵那の味・伝承講座」が開かれ、約20人が五平もちづくりを体験しました。今回は、武並町の農業団体「ハンズ武並」から、曾我龍一さんと原田みさ子さんを講師に迎え、串の位置やご飯の厚さに注意しないと、焼いているときに割れて落ちてしまうことや、初めにご飯だけの素焼きをしてからタレをつけることなど教わり、受講者はミソだれの香ばしいにおいが漂う中、丁寧に五平もちを焼き上げました。

医療に見る大正時代

大正百年事業のPRイベントとして、9月13日、「大正百年まであと三年—大正浪漫シンポジウム」が明智かえでホールで開催されました。

はじめに、日本大正村の助役である井形昭弘氏（名古屋学芸大学学長）による基調講演が行われ、パネルディスカッション「大正文学にみる医療」では、竹久夢二の作品や生涯から見る結核のつながり、ドイツ人医師の著書などを例に取り上げ、司村長らが、大正時代の医療の進化を語り合いました。



脚気究明の大正時代を語る井形昭弘氏

バランスと笑顔が大切



演技指導をする小山さんと、熱心に聞く児童たち

飯地小学校の運動会で全校生徒が披露する一輪車の演技指導に、一輪車の元世界チャンピオン小山美由紀さんが、9月10日、同小学校を訪れました。

小山さんは「バランスをとる腕が大切。背筋を伸ばして前を向いて」などと指導し、子どもたちも、真剣な表情で練習に取り組みました。

練習の最後に小山さんは「演技で一番大切なのは笑顔です。楽しんで演技をしてください」と運動会の本番に向けて子どもたちにエールを送りました。

レジ袋有料化スタート

9月8日から12日まで、市内のスーパーなどで、「レジ袋有料化」店頭啓発キャンペーンが行われました。

地球温暖化防止とごみの減量化を目的に、東濃5市で一斉に、10月1日からレジ袋削減（有料化）の取り組みが開始されることから、市民にマイバッグやマイバスケットなどの利用を進め、レジ袋削減に協力してもらおうと、市民団体と県、市が協力して行いました。



レジ袋有料化について説明を聞く買い物客

東海地震に備え防災訓練



明智会場で行われた心肺蘇生の訓練コーナー

8月31日午前8時、東海沖を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、市全域で震度6弱を記録、家屋の倒壊などの災害が発生したことを想定した防災訓練が市内全域で行われました。

訓練は、各自治会単位での避難と町単位での避難者報告などを行った後、各地域で心肺蘇生やAED操作訓練、消火器訓練、防災講演会、バケツリレーなど11,976世帯（65歳）、19,468人（35歳）が参加し、防災意識を高めました。

人を助ける最前線で理解

上矢作病院と岩村消防署の連携で、9月9日の救急の日「1日ドクターカー」を実施しました。

ドクターカーとした救急車での出動に備えて、岩村消防署に待機したのは、上矢作病院副院長で救急担当医の西脇巨記医師と熊崎研修医師の2人。岩村消防署の職員は待機した2人の医師に、救急出動時の指令台の役割や指令の出し方、高規格救急車の装備などを説明して、お互いが活動している最前線での救急に対する理解を深めました。



高規格救急車の装備について説明を受ける西脇医師

木曽の発電所をめぐる旅



堀川君と展示された作品

9月3日から23日まで、市中央図書館で大井小学校6年生堀川泰寛くんの作成した『木曽の発電所をめぐる旅』～恵那峡を生み出した福沢桃介の足跡をたどる～が展示され、来館者の目を楽しませました。

堀川くんは、福沢桃介記念館を訪れたのをきっかけに、福沢桃介や大井ダムに興味を持ち、木曽川流域のダムや鉄道などを調べ、畳3畳分ほどもある大きな地図を作成しました。

広重没後150年記念・東海道広重美術館姉妹館提携記念

『広重と北斎の東海道』展

中山道広重美術館
特別企画展

会期

10/2(木)～11/30(日)

前期:10/2(木)～11/3(月)

後期:11/6(木)～11/30(日)

開館時間 午前9時半
～午後5時(入館は午後4
時半まで)

観覧料 ▷大人=800円
(団体650円) ▷小・中・高
校生=500円(団体400円)

毎週月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日(土日・祝日を除く)、
9/29(月)～10/1(水)、
11/4(火)～5(水)は展示替
え、10/14(火)・11/25(火)は祝
翌日のため休館

問い合わせ 中山道広
重美術館☎20-0522



歌川広重
「東海道五拾三次之内
日本橋 朝之景」

大判錦絵 当館蔵
1833(天保4)年ころ

保永堂版「東海道五拾三次之内」(1833(天保4)年ころ)をはじめ、広重の東海道の浮世絵シリーズは有名ですが、実は北斎も広重より早く文化年間(1804-1818)を中心に東海道のシリーズを描いています。本展で、広重と北斎それぞれの違い、広重の各東海道の浮世絵シリーズにおける違いをお楽しみください。

また会期中は、模擬版木による本図の5色刷りが体験できます。

10月5日は市民の日

毎月第1日曜日は「市民の日」とし、市民に限り観覧を無料としています。気軽に美術の世界に触れていただき、美術を中心とする文化活動やまちづくり活動の拠点に活用いただけるよう、願っています。

文化財を巡る

伝説と史実のはざままで～明知城跡

恵那市には、江戸時代以来伝わる古い伝承がまちづくりに生かされています。中でも笠置山周辺の南朝伝説や西行や鴨長明、女城主、明智光秀などにかかわる伝承がよく知られています。中でも明智光秀は現在もその出生地がはっきりしていないため、当市の明智町以外に可児市明智、山県市美山の2説が出生地の候補となっています。また明智氏が美濃源氏土岐氏の一族とされることから、最近、瑞浪市内で候補地が名乗りを上げたそうです。果たして、光秀はどこ出身なのか。地域を見直すきっかけにもなりますので、興味のある方は調べてみてはいかがでしょうか。

さて、伝承はともかく、明知城は、明知遠山氏の居城として、戦国時代の織田と武田の争いを記した資料の中にも度々登場します。市内では岩村城に次ぐ規模の城郭ですが、石垣を持たない土造りの城で、印象は地味かもしれません。しかし、「城」という字が「土」と「成」からできていることでも分かるように、多くの曲輪群や多彩な空堀、土塁などで構成された古い山城の姿をしっかりと残しています。

ただ、これらの遺構をすべてしっかり見分けられる

のは、中世や戦国時代の城をかなり勉強した人。一般の人には山の自然地形と見分けがつかない所がたくさんあります。一般の人に分かりやすく、皆さんに親んでもらうにはどうしたらいいかは、明知城に限らず、文化財の保存と活用を進めていく上で、最も大切な事柄といえます。

問い合わせ 文化課☎43-2112(内線217)



本丸跡には城全体の説明板などがある

力作ぞろい発明くふう展

市内の児童や生徒らの、自由な発想で力作がそろった「恵那発明くふう展」の表彰式が、9月14日、展示されていたバロー恵那店で行われました。

今年の発明くふう展の出品は85点。県知事賞に輝いたのは、東野小学校6年生の足立恵美ちゃん「リサイクル 飛び出す絵本」。家庭で不要となった紙やダンボールを使い、布やビーズで飾り付け飛び出すように工夫した絵本。作ろうと思った理由は「小さな子たちのために」でした。



県知事賞を受賞した足立恵美ちゃん

訓練の成果を披露



優勝した飯地分団の小隊訓練

9月14日、第4回市消防団市長査閲が岩村グラウンドで行われ、消防団員が日ごろの訓練の成果を披露しました。消防団員に必要な訓練を市長が点検し、団員の知識・技能の向上を図ることを目的に実施。参加した830人の団員は、閲団や小隊訓練、中隊訓練、ラッパ隊点検、音楽隊点検、女性消防隊点検を行い、小・中隊訓練で順位を競いました。成績は次のとおりです。優勝＝飯地分団 準優勝＝中野方分団 3位＝武並分団

秋の月待ちお堂めぐり

農村景観日本一で有名な岩村町富田地区で、9月23日、「第15回秋の月待ちお堂めぐり」が好天の中開催され、約1,100人が参加しました。

秋の収穫時期、黄金色となった田園を回る約7kmのコースに、10カ所のチェックポイントを配置したスタンプラリーのイベント。お堂やコースの途中の休憩所を、参加者は楽しそうに散策しました。ゴール会場では、完歩賞としてお楽しみ抽選会があり、当選者には地元産の農産物が贈呈されました。



たくさんのお堂を楽しそうに巡る参加者

ペア・シーサーづくり



シーサーの表情に悩みながら作る参加者たち

沖縄の守り神として知られるシーサーを陶器で作る講座が、9月14日に山岡地陶業文化センターで開催され、25人が参加しました。今回は、山岡白土を一人1キロほど使用し、講師の丁寧な指導を受けながら取り組みました。親子で参加した市川みな美ちゃん(大井小5年)は「シーサーは初めて作るけど、出来上がったら玄関に飾りたい」と、焼き上がりを楽しみにしていました。このシーサーは、10月の登り窯で焼成されます。